

第7回蒲郡市立たちばな小学校開校準備委員会 議事要旨

- 日 時 令和8年5月13日（水）10時から11時30分まで
- 場 所 蒲郡市立蒲郡北部小学校3階多目的室
- 参加者 開校準備委員会委員
彦坂繁、宇野源一、奥村那奈、伊藤和欣、足立泰敏、永井久嗣、
杉浦啓太、尾崎友美、山本なおみ、原田あい、杉浦嘉伸、
近藤愛子
事務局
高須伸光、稲吉育美、香ノ木寛之、井本亮裕、牧野聖生

1 あいさつ（委員長 彦坂 繁）

開校まで1年をきった。北西部小の職員で、開校に向けた会議を何度も重ねている。そのたびに課題もあがってくる。開校が迫ってくる緊張感を感じながら、本年度をスタートしている。

子どもたちは、北西部小とも元気に毎日を送っている。今は、運動会の練習中である。子どもたちからも「最後の1年」という言葉があがり、意識をしていると感じている。職員も、通常の業務に加え、開校に向けた準備にも力を注いでくれ、たいへん頼もしく感じる。

本日も、忌憚のないご意見をいただけたらと思う。

2 協議

(1) 委員名簿の確認

前年度委員の解嘱に伴い、5名の方が新たに委員となる。

(2) 第6回準備委員会の議事要旨確認について（事務局）

第6回の議事要旨について確認。

【委員からの質問・意見】

特になし

【決議】

全会一致により承認

(3) 令和8年度のスケジュールについて

12月に保護者説明会を予定している。また、2月には地域説明会も実施予定。校章については、夏までに決定していきたい。その他開校に必要なことについても、北西部小教職員を中心に準備していく。この会で進捗状況を報告させていただき、委員の方にご意見をいただくこととなる。

【委員からの質問・意見】

特になし

(4) 部会報告

ア 事務局からの報告

『新しい学校通信』第5号を広報3月号と併せて回覧。第6回地域説明会を3月26日（木）蒲郡北部小体育館にて開催。

要綱を改正し、この会を「蒲郡市立たちばな小学校開校準備委員会」に変更。「たちばな小」の名前を広く周知していきたい。

地区個別計画に基づく基本計画（蒲郡北地区）が策定された。ホームページでも公開している。

イ コミュニティ部会からの報告

校歌は、令和9年度の統合後に子どもたちと制作していく。子どもたちと一緒に制作していただける方を検討中。子どもたちとコミュニケーションが取れて実績のある方を第一候補として依頼していく。

たちばな小 PTA 組織等については、先日行われたそれぞれの PTA 総会で承認された。

ウ カリキュラム部会からの報告

令和9年度1年生に関わる就学時検診等は合同で行っていく。

引き続き交流を行っていく。すでに4月当初合同職員会を開き、どのような交流をしていくか話し合った。交流を通して、子どもたちが安心して統合できるようにしていく。

統合により、中央小学区となる家庭に対し、たちばな小、中央小どちらに通うか、その意向を大切にしながら、中央小との交流も考えていきたい。また、小中一貫教育も始まっているので、統合に関わらず、小学校間の交流は行っていく予定。

エ 生活部会からの報告

生活のありかたについては、12月の保護者説明会で提示できるように進めていく。体操服は、新一年生は12月から、新2～6年生は令和9年4月から購入できるように進めていく。校章の決定時期によって、購入時期がずれる可能性はある。

【委員からの意見・質問】

【委員】 小学校の統合に合わせて、教育活動の部分は順に進んできていると感じている。地域と学校の部分が関係してくる。公民館は令和9年度には統合しないが、小学校が関わっているものがあると思う。小学校と公民館の関係がどのような形になっていくのか。コミュニティ部会を中心に考えていくのか、別の組織が立ち上がるのか。小学校と地

域の連携を今後どのように進めていくか計画があれば教えてほしい。

【事務局】 小学校と公民館の結びつく部分が多いことは、学校からも聞いている。公民館の役割を大切にいただきながらも、子どもたちに関わる部分は（西部小・北部小ではなく）「たちばな小の子どもたち」というくくりでお願いしたいと思っている。現在、生涯学習課とも相談し、まずは、学校に関わる部分をそれぞれの公民館で整理していただき、今後どのような形で小学校との連携をしていくのかを、学校・公民館・生涯学習課、教育政策課で話を進めていこうと考えている。

【委員】 例えば、文化祭で子どもたちの作品を公民館で展示しているが、北西部それぞれの公民館がどのようにしてくか等具体的なことを進めていかななくてはならないと思っている。

【事務局】 文化祭の作品のこともお伺いしている。どういった形でそれぞれの公民館と連携していくか、発想を広げながら、具体的なことを開校までに決めていけたらと考えている。

【委員長】 子どもたちが分断されないようにということが1番の願いである。他にも交通安全推進協議会も同様なので、地域とたちばな小としての連携の具体的な形を考えていかななくてはならない。

【委員】 地域学校協働活動も今は北西部それぞれであるが、来年度には一つになる。どうなっていくかという悩みはあるが、地域学校協働活動が公民館に先立って一つになるので、そこをうまく使えとよいと思う。また、PTA活動の縮小傾向に伴い、地域学校協働活動のボランティアでうまく賄っていけるような形づくりをしていきたいと思う。

【委員】 カリキュラムのことにに関して、私見が入るが、これからの時代AIを無視することができない。これからの学校教育における学びをどのように考えていくか。文科省は授業時数を学校の裁量で調整できる指針を出している。たちばな小も独自の色がだせるとよい。特に表現力を養う時間を取れるとよい。

また、ミカン園をつくるのであれば、必須条件として子どもたちが毎日見にいけるように敷地内に設けていただきたい。ミカンの木と対話することを西部小ではやってきている。それが学びとなり、全国的にも評価されている。

さらに、北部小の北側道路が通学路として利用できれば、一部の子どもたちの通学時間が半分になる。

【委員】 ミカンの学習はとてもよい。たちばな小でもできるとよい。ただ、平面図面も出てきていないので、どのくらいの規模で、どの面積でできるのかが分からない。地域説明会でもその部分については説明がな

かった。

【事務局】 地域説明会では説明できなかったが、基本計画のなかでは大まかな配置図案を示している。今年度設計業者を選定して、来年度から設計をしていく予定。これから設計を行う段階で、学校関係者、施設関係者、地域の方のご意見をいただきながら進めてく。過去のワークショップでも、ミカンの木のことも当然ご意見をいただいている。

【委員長】 校歌に関することにもご意見いただきたい。第一候補と考えている方についてどう思われるか。委員会として後押しがあると、自信をもってお願いができる。

【委員】 (全員の拍手により賛成)

(5) 校章デザイン案選定

全部で89の応募があった。この中から、準備委員会で5点程度に候補を絞り、それをデジタル化等して、子どもたちの投票を行う。その投票結果を参考に、次の開校準備委員会で、決定していく。あくまでもデザイン案なので、デザインの完成度よりも、校章にふさわしいデザインを選んでいただきたい。

委員の皆様から異論がなければ、まずは、良いと思われるもの、3点を各委員で選んでいただきたい(委員からの異論なし)。

子どもたちのイメージが反映されているか、校章として使われる状況、モノクロでの使用を考慮して選んでいただきたい。

【委員からの意見・質問】

【委員】 色のついていないものもあるが、それには色をつけるのか。

【事務局】 デザイン案を募集しているので、使う目的によって色を付けていく可能性はある。

【委員】 「たちばな」という名前が入るものと入らないものがあるが、名前がないものには、入れていくのか。

【事務局】 「蒲郡市立たちばな小学校」は必要である。入れて使用する場合と、入れずに使用する場合など状況によって変わる。選ばれたデザインで、名前が入っていないものは、デザインに重ならないように入れていきたい。校章として使用できるよう変更することは、募集要項の中で「応募者の了承を得ず、補正・修正・デジタル化をする場合がある」と明記しているので、問題ないと考えている。

(投票を2回行い、5点の候補に選ばれた。)

(6) グランドデザイン案について(西部小校長 奥村 那奈)

昨年度、「たちばな小をどのような学校にしたいか」「どんな子どもたちに育ててほしいか」について、話し合いやアンケートを行い、子どもたち、

保護者の皆様、地域の皆様、教職員の思いや願いをお聞きした。これを受けて、グランドデザイン案を考えた。今後、学校運営協議会でも報告し、ご意見をいただいていく。令和9年度の初めの学校運営協議会で承認をいただけるように準備していく。

3 その他

- (1) 委員より地域財産を活かすまちづくり事業について説明
- (2) 事務局より、今年度の開校準備委員会の日程について
- (3) 次回は8月7日（金）10：00～ 蒲郡西部小学校会議室にて開催